# れんごうさが

No.169
2019年1月

「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けて～希望ある未来づくりを～

RENGO SAGA

発　行　日本労働組合総連合会・佐賀県連合会
発行人　草場義樹　　編集者　高祖和彦



〒840-0804
佐賀市神野東4-7-3　TEL0952-33-3705　FAX0952-33-2805　0120-154-052


## 2019新年のごあいさつ

日本労働組合総連合会　佐賀県連合会　会長　青柳（あおやぎ）　直（すなお）

新年を迎え謹んでご挨拶を申し上げますとともに、日頃からの連合運動に対するご指導・ご支援に心より感謝申し上げます。本年も、より一層のご鞭撻・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

一昨年、トランプ米大統領が誕生して以降、自国優先の経済政策をはじめ排他的な政策を打ち出し、特に中国に対し対決姿勢を強め貿易戦争を仕掛けており対中政策の転換で世界はいま大きく揺れ動いています。

日本国内においては、昨年も自然災害が全国的に多発し各地に甚大な被害をもたらしました。くわえて、度重なる災害で国内インフラにおいても様々な問題が露呈し、これまでの延長線上での災害対応では厳しい状況にあります。さらに、北方四島・尖閣・竹島の領土問題、全国的に深刻化している人手不足への対応、さらには出生数の減少による少子化問題、社会保障制度問題など国内外ともに様々な重要課題を抱えています。

一方、昨年「働き方改革関連法」が成立し今年４月から順次施行となり、特に時間外労働に罰則付きで上限規制がかかります。今後、労働組合として、同一労働同一賃金など均等待遇の実現、年休取得の促進、長時間労働の是正、３６協定の締結、労働時間の客観的な把握・管理の導入など「働き方改革」元年の年であり、取り組みの強化を図っていかなければなりません。

そして、今年は平成から新しい元号へ、連合も結成３０周年と節目の年を迎えるなか、昨年の通常・臨時国会においては、「安倍一強政治」のなかで様々な法案が強硬採決されてきました。この結果は言うまでもなく、これまで支持をしてきた民進党が分裂し国民の期待や負託に今もなお応えきれていないことにあります。

今日、将来への不安が増すなかで、連合が求める「政策・制度要求実現」のためには政治との関わりは大変重要であることに変わりはありません。そのために、連合佐賀は構成組織や各地協、そして「議員懇談会」など推薦議員との連携を一層強化し、今年行われる統一地方選挙や参議院議員選挙で結果を残していかなければなりません。

そして、連合が目指す「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けた連合運動の浸透と共感の輪を世論に広げるため、それぞれの立場で強くアピールを行い、これまで以上に一人ひとりが日常起こっている国内の社会的課題や問題に正面から向き合い、そして今後大きく変化していく日本社会を見据え運動を進めていきたいと思います。

２０１９年を素晴らしい年に、素晴らしい日本にするために、社会的アピールを強め、多くの仲間を増やし、組織の拡大と強化を図りながら連帯と運動の輪を共に広げていこうではありませんか。この1年が、ご家族共々実りある年でありますようにご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせて頂きます。

**明けましておめでとうございます**
**今年もよろしくお願いいたします**
**連合佐賀役職員一同**

**前列左から**
[連合佐賀役員]高祖副事務局長、青柳会長、草場事務局長、原副事務局長
**後列左から**
[連合佐賀職員]西村職員、岩田職員、[北部地協役職員]橋爪職員、小笠原事務局長、[東部地協役職員]江口職員、鶴崎事務局長、[南部地協役職員]江頭職員、武富事務局長

# 2019新年のご挨拶

日本労働組合総連合会　会長　神津（こうづ） 里季生（りきお）

新年明けましておめでとうございます。連合運動に対する日頃のご指導・ご支援に心より御礼申し上げます。

今年、連合は結成30周年を迎えます。この29年間、労働組合としての日常的な取り組みに加え、社会の不条理に立ち向かうとともに、地域に根差した顔の見える運動を積み上げてきました。30周年の節目に向けて、各構成組織・地方連合会との丁寧なコミュニケーションによる情報共有と合意形成に努め、一体感のある運動を推進し、組織力・政策力・発信力強化に全力で取り組んでいく所存です。そして、将来を見据えた新たなビジョンを示し、希望ある未来づくりへの運動を打ち出してまいります。

春季生活闘争は、月例賃金の引き上げにこだわり、賃上げの流れを継続・定着させるとともに、中小組合や非正規雇用で働く労働者の賃金を「底上げ・底支え」「格差是正」する取り組みの実効性を高めていくことが不可欠です。2019闘争においては、賃金の上げ幅のみならず、賃金水準を追求する闘争の強化が求められます。

働き方改革についても、社会への発信、世の中全体へ広げていく視点が重要です。すべての職場で36協定が適切に締結されるよう、労働組合は世の中全体の運動を牽引することが重要です。連合全体で「Ａｃｔｉｏｎ！３６」に取り組み、3月6日、「36（サブロク）の日」を一つのシンボルとして、ともに大きなうねりをつくり出していきましょう。

こうした取り組みの基盤となるものが、集団的労使関係の構築です。構成組織・地方連合会と連合本部による三位一体の取り組みで、連合は15年ぶりに「700万連合」を回復いたしましたが、依然8割以上の働く仲間が集団的労使関係の外に置かれています。私たちはこのことに正面から向き合い、すべての働く者にとっての労使関係の重要性・必要性を強く訴えていくことが必要です。

働く者・生活者の立場に立った政策により「働くことを軸とする安心社会」を実現するためには、弊害ばかり目立つ一強政治を打破しなければなりません。昨年11月30日には、立憲民主党、国民民主党と、第25回参議院議員選挙に向けた政策協定を締結いたしました。統一地方選と参院選が重なる12年に一度の極めて重要な今年、働く者・生活者の立場に立つ政治勢力の拡大に向け、総力を挙げて闘っていこうではありませんか。

本年も、連合に対する一層のご支援をお願いするとともに、皆様の益々のご健勝とご活躍を祈念いたします。

## 謹んで新春のお慶びを申し上げます

元総務大臣　国民民主党佐賀県総支部連合会 代表　衆議院議員　原口（はらぐち） 一博（かずひろ）

日ごろのご支援に心からの感謝をこめて新年のお慶びを申し上げます。

この四月から働き方改革法が段階的に施行され労働時間の上限規制も厳格に守られる事となります。しかし同法案や入管法改定案の強行裁決に象徴されるように労働者の権利保障に深刻な懸念を残しているのも見逃せない事実です。先進国中最悪の有給休暇のとりにくさも変えなければなりません。

労働者と政治、公務労働者と民間労働者、正規労働者と非正規労働者の分断を跳ね除け大きな連帯を築いてまいりましょう。

私は国民民主党国対委員長として国会Gメンを復活させ悪政に対する超対決路線を打ち出しました。もう一度大きな連帯、民主党を復活させて安倍内閣の暴走を止め政権交代をさせたいと本気の野党共闘を提案しています。

今年は12年に一度の統一地方選挙と参議院議員選挙が重なる年です。連合佐賀支援候補は全勝を続けています。私たちの強い連帯で佐賀から日本の政治を変え明るく温かい社会を変えていきましょう。

皆様の益々のご活躍と連合佐賀の発展を心からお祈りいたします。たくさんの祝福がありますように。

# 謹んで新年のお祝辞を申し上げます

衆議院議員　大串（おおぐし）　博志（ひろし）

新年明けましておめでとうございます。平成最後の新年の時を、連合佐賀に集う仲間の皆さんとともにお祝い申し上げつつ、平素からのご支援に感謝の意を表したいと思います。

国政においては、相変わらず安倍政権による一強独走状態が続いています。その中で、昨年においては働き方改革法案、外国人労働者受け入れに関する入国管理法改正案といった、私たちの「働き方」に大きな影響を与え得る法案が、十分な審議も経ないまま、強行採決の上成立させられてしまいました。今後これらの法律に関する細目の詰めに関しては、国会としても十分に吟味していかなければなりません。

世界経済が変調の兆しを見せ、景気の先行きに細心の注意を払っていかなければならない中で、今年10月には消費税率が引き上げられます。雇用と生活の安定に向けて、国会が果たさなければならない役割も高まります。

一方で、安倍政権に相対時する野党側の態勢は、残念ながら力が分散した状況にあることは否めません。加えて、今年は春には統一地方選、夏には参院選と続きます。

このように、今年が極めて重要な年になるからこそ、私たち野党側がどのような態勢で臨んでいくのか、より強く問われるでしょうし、これに応える動きを作り出していかなければなりません。連合佐賀の皆さんの、思いをしっかり受け止められるような流れを、今年こそ作って行く決意です。

今年が、連合佐賀の皆さんにとって素晴らしい年になることを祈念しています。

## ～連合佐賀第55回地方委員会を終えて～

連合佐賀は10月20日（土）、自治労会館において、第５５回地方委員会を開催し、第3号議案役員補選に関する件について提案どおり承認されましたのでご紹介いたします。

### 連合佐賀2018年度退任役員・2019年度新役員紹介

**（2018年度退任役員）**

| 役　職 | 氏　名 | 構成組織 |
|---|---|---|
| 前会長代行 | 原口　郁哉 | 自治労 |
| 前副会長 | 新山　　斉 | UAゼンセン |
| 前執行委員 | 岳　　順一 | フード連合 |
| 〃 | 橋本　直弥 | 自動車総連 |
| 〃 | 三原　隆広 | 自治労 |
| 〃 | 山田　保彦 | セラミックス連合 |
| 前会計監査 | 杉江　和紀 | 政労連 |

**（2018～2019年度　新役員）**

| 役　職 | 氏　名 | 構成組織 |
|---|---|---|
| 会長代行 | 石橋　正純 | 自治労 |
| 副会長 | 俣野　勝敏 | UAゼンセン |
| 執行委員 | 武野　智宏 | フード連合 |
| 〃 | 嶋田　篤史 | 自動車総連 |
| 〃 | 戸川　武幸 | 自治労 |
| 〃 | 山口　幸一 | セラミックス連合 |
| 会計監査 | 永渕　秀和 | 政労連 |

# 次代を担う青年リーダー育成と青年活動の活性化に向けて

## 青年委員会「第29回定期総会」開催

△江頭委員長(電力総連)

連合佐賀青年委員会は、12月1日（土）14時より自治労会館において、総会構成員約40名の出席のもと「第29回定期総会」を開催しました。

開催にあたり、青年委員会を代表して挨拶を行った江頭委員長（電力総連）は、2018年度の青年活動を振り返り、特に小川島で開催した「青年・女性ユースラリー交流集会」への協力に対するお礼を述べ、昨年から検討している青年活動のあり方について問題提起を行いました。

△2019年度新役員のみなさん

総会では、2018年度の活動を総括し、議案として2019年度活動方針ならびに2019年度役員が提案され、両議案とも承認されました。また、役員改選に伴い、新旧役員の紹介・挨拶が行われ、白谷新委員長より青年活動への引き続きの支援・協力を求めました。その後、総会アピールを採択し、白谷新委員長のガンバロー三唱で閉会しました。

2019年度の活動にあたっては、連合佐賀2019年度運動方針および青年委員会会則に定める目的と活動を踏まえ、次世代を担う青年リーダーの育成や単組・産別の枠を超えた青年の交流・学習会、政治活動への理解促進・参加等に取り組んでいきます。また、構成組織・地域協議会の青年組織・青年組合員との連携に努めていきます。

次世代を担う青年リーダーの育成は、労働組合として、連合・産別・単組として重要な運動の一つです。青年活動の活性化に向け、各機関・組織の位置づけと役割を確認しながら諸活動を展開していきますので、引き続きのご支援ご協力をお願いします。

【2018年度退任役員】

前委員長　江頭　誠二（電力総連）、前副委員長　江頭　侑花（電機連合）
前事務局長　森田　諒（自治労）、前事務局次長　牟田　浩輔（紙パ連合）
前委員　今村　康照（フード連合）、福山　圭佑（電力総連）、溝口　航介（全水道）

【2019年度役員体制】

※副委員長、委員:五十音順

| 役　職 | 氏　名 | 産　別 | 単　組 | 再新 |
|---|---|---|---|---|
| 委 員 長 | 白谷　樹也 | 電機連合 | 戸上電機労組 | 新任 |
| 副委員長（2名） | 市川　太平 | JP労組 | JP労組 | 再任 |
| | 古庄　大樹 | 自治労 | 小城市労連 | 再任 |
| 事務局長 | 山下恭之介 | 電力総連 | 九州電保労 | 新任 |
| 事務局次長 | 福田伊知朗 | 情報労連 | NTT労組 | 再任 |

| 役　職 | 氏　名 | 産　別 | 単　組 | 再新 |
|---|---|---|---|---|
| 委　員（7名） | 赤木　孝光 | フード連合 | 伊藤ハムウエスト労組 | 新任 |
| | 今村　圭吾 | 自治労 | 神埼市職労 | 新任 |
| | 笠原　浩位 | 自動車総連 | 日産サティオ佐賀労組 | 新任 |
| | 竹島　裕隆 | 運輸労連 | 全日通労組 | 再任 |
| | 西田　知史 | 全水道 | 佐賀水道労組 | 新任 |
| | 山瀧　諒太 | 紙パ連合 | 王子マテリア労組 | 新任 |
| | 山本　凌平 | 電力総連 | ニシム電子工業労組 | 新任 |

# 働く女性がいつまでも輝き続けるために

## 女性委員会「第29回定期総会」「講演会」開催

連合佐賀女性委員会は、12月1日（土）10時より佐賀市自治労会館において、総会構成員52名の出席のもと「第29回定期総会」を開催しました。

△2019年度新役員のみなさん

△塚本委員長（電力総連）

開会にあたり、塚本委員長（電力総連）は、1年間の取り組みを振り返りながら、自らが会社を病気休職したことを報告し、女性に限らず働くものは、誰が、いつ、自分と同じような状況となる可能性はある。復職後は組合の仲間と話す中で、今では元気に楽しく働くことができている。と労働組合の必要性を訴え、女性委員会諸活動への参加、理解・協力を求めました。

総会では、2018年度の活動を総括するとともに、議案として2019年度活動方針ならびに2019年度役員が審議され、両議案ともに承認されました。

役員改選では、田中朋美委員長（前事務局長）をはじめ多くの役員が継続され、再任7名・新任2名の9名体制でのスタートが確認されました。

なお、女性委員会としては役員10名体制をめざしており、もう一人の幹事について、各産別よりの選出協力を求めました。その後、総会アピールが採択され、閉会しました。

2019年度の活動にあたっては、「働きがいのある人間らしい仕事の実現と女性の活躍推進」に向け、女性のエンパワーメント（力をつけること）を高めることを基本に、学習会、産別の枠を超えた交流・情報交換、女性リーダーの育成、また、男女がともに担う労働運動の推進や男女平等政策の実現に向けた政治活動など、積極的に取り組んでいきます。

また、本年5月には連合九州ブロック「男女平等参画推進フォーラム」が佐賀県開催となるため、九州・沖縄の仲間を受け入れる開催県として、実行委員会などへの参画・参加を女性委員会および産別女性代表とで協力しながら取り組んで行くことも確認されました。

【2018年度退任役員】

前委員長　塚本　信子（電力総連）、前幹事　末次　志穂（電力総連）

【2019年度役員体制】

※幹事:五十音順

| 役　職 | 氏　名 | 産　別 | 単　組 | 再新 |
|---|---|---|---|---|
| 委員長 | 田中　朋美 | 電機連合 | 戸上電機労組 | 新任 |
| 副委員長 | 嶋　幸子 | 自治労 | 神埼市職労 | 再任 |
| 事務局長 | 田中　絢菜 | 電力総連 | 九電ユニオン | 新任 |
| 幹　事（6名） | 石隈由紀子 | フード連合 | 味の素冷凍食品労組 | 再任 |
| | 江頭　宏美 | 電力総連 | 佐電工労組 | 新任 |
| | 椛島恵美子 | 自治労 | 佐賀県職連合 | 再任 |
| | 中村　直子 | 電機連合 | パナソニックデバイス佐賀労組 | 再任 |
| | 成富恵理奈 | 全労金 | 労金労組 | 再任 |
| | 諸岡千紗子 | JP労組 | JP労組 | 再任 |

△吉田真也さん

総会後は、例年企画している講演会を開催しました。今年は、「偏見、差別…第一歩!!（LGBTとの出会い）」をテーマに、全国消防職員協議会ユース部代表　吉田真也さんを招き、男性中心の消防職場におけるハラスメント、ジェンダー差別・偏見をなくす取り組みの報告を受け、学習しました。

# 生き生きと安心して暮らせる社会をめざして

## 佐賀退職者連合「第25回定期総会」開催

△退任の毛利会長
（農水省退職者の会）

△石田 新会長（NTT退職者の会）

佐賀退職者連合（略称：佐賀退連）は、11月20日（火）13時30分より、第25回定期総会を開催しました。

今総会では、2018年度の活動を総括し、議案として2019年度活動方針ならびに会計予算が付議され、両議案承認されました。役員については、石田新会長（ＮＴＴ退職者の会）をはじめ18名の役員（任期2年）が選出されました。

佐賀退連は、「安心・信頼の社会保障制度の確立で、生き生きと安心して暮らせる社会」をスローガンに、「組織を強化し、主体的力量を高め、7000人会員の総力をあげて運動を前進させる」ことを確認する総会アピールを採択し、閉会しました。

## 議員懇2018冬季研修会開催

△川平勝己さん
（佐賀県地域交流部さが創生推進課、移住支援室 室長）

連合佐賀議員懇談会（略称：議員懇）は、11月23日（金）10時より、2018冬季研修会を開催しました。

佐賀県地域交流部さが創生推進課、移住支援室　川平勝己　室長より「佐賀県の移住支援の取組と現状」をテーマに講演いただきました。

また、移住者お二人をゲストとして迎え、伊藤寿賀子さん（東京都よりUターン、唐津市在住）と門脇享平さん（千葉県生まれ、佐賀市三瀬村在住）から、移住しての体験や現状とともに佐賀の地に移住を決意させた背景、佐賀県民に望むことなどについて、お話をうかがいました。

△伊藤寿賀子さん
（唐津ブランドOHACCO、NPO法人日本ハワイアンリトミック協会）

質疑応答では、議員懇会員議員をはじめ8名より発言があり、活発な意見交換が行なれ、今後の議員活動や地域活動に活かされる研修となりました。

また、4月に執行される統一地方選挙候補予定会員全員の必勝に向けて、全力で支援することが確認されました。

△門脇享平さん
（NPO法人Murark／ムラーク理事）

## 編集後記

あけましておめでとうございます。

連合佐賀でやっと1年が過ぎました。皆様方にはスムーズな対応が出来なかったことを反省しています。また、春闘も始まります、今年も皆様のご協力をお願い申し上げます。（K）